

会員のグループによる自主企画助成 募集要項（募集延長）

日本社会教育学会は、「会員のグループによる自主企画助成（以下、会員自主企画助成）」制度を持っています。「会員自主企画助成」は、3人以上の会員によって構成されるグループが、開かれた研究交流の促進と、学会の研究活動の一層の活性化を目的として自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなどの学習・研究活動）を行う際に、学会として助成を行うものです。これにより、多様な会員に開かれた研究交流の場を組織し、学会全体の研究活動が活性化することを目指しています。締め切りは2026年8月15日（土曜日）です。奮ってご応募ください。

本制度による助成を希望する会員は、募集要項に基づき、申請書を学会事務局 jssace.office@gmail.com まで電子メールに添付ファイルで提出してください。

○目的：会員相互の研究交流の促進と学会における研究活動の活性化。

○内容：①自主企画（シンポジウム、研究会、ワークショップなど学会員にひらかれた学習・研究活動）を研究大会・六月集会以外の時期に1回実施する（必ず学会メールニュース等にて会員に周知する。オンライン開催も可）、②自主企画の実施内容について助成を受けた翌年刊行の『社会教育学研究』にて報告する。

○今年度のスケジュール

応募締め切り	採択先・助成額の	会員に開かれた	翌年刊行の『社会教
8月15日	⇒ 決定・通知	⇒ 自主企画の実施	⇒ 育学研究』で報告
	8月29日以降	(6月集会・大会時以外)	

○助成金額：1件あたり10万円を上限とする申請方式

※予算案を踏まえて支出額を決定するため、応募時に予算案を提出してください。なお、支出可能な費目は、会場賃借料、交通費・宿泊料（グループメンバー分含む）、謝礼金（非会員の場合）、消耗品（記録作成経費含む）などです。※各グループには、企画実施後に会計報告を提出していただきます。

○応募資格：3人以上の会員によって構成されるグループ

※なお、応募多数の場合は、予算枠（年間20万円）上限として採択を行います。その際は、①年齢の若い人、②正規雇用職にない人、③学会加入年数の短い人の順に人数の多いグループを優先します。

※多様な会員に開かれた研究交流を促進するという主旨を踏まえ、所属機関、職業、性別、エスニシティなどに多様性のあるグループ構成となることを期待します。申請書に、「グループメンバーの特徴」として、この点に関する説明を付してもらいます。

○**応募締め切り：8月15日（必着）**とする。採用予定者を**8月29日の全国理事会で決定**後、公表する。

○申請書：別添

○本件に関するお問い合わせ先：学会事務局 jssace.office@gmail.com ※申請書の提出後3日過ぎても担当者より受領の連絡がない場合は、すぐに事務局にお問い合わせください。

参考資料：過去の実績

企画名	日時	開催場所・方法
ユースセンターに関する記録資料を用いたデータセッション	2023年1月21日 16:00～19:30	東京大学本郷キャンパス（対面のみ）
『移動』の時代における地域社会教育の展望と課題—長野県泰阜村での共同調査を通して—	2023年2月18日 13:30～16:00	九州大学伊都キャンパス（ハイブリッド形式）
教育課程編成への市民参加を企図した地域学習支援システム構築のための『教育課程調査カード（仮）』の開発 第一回研究会	2023年12月2日 9:30～12:30	北海道大学（現地またはオンライン）
「教育課程調査カード（仮）」開発のための第三回研究会	2024年3月17日 10:00-12:00	学習院大学（現地またはオンライン）
学校部活動のオルタナティブとしてのボーイスカウトと青少年赤十字の可能性	2024年2月1日 19:00-21:00	オンライン
「ラウンドテーブル「社会教育施設概念のゆらぎを問う」	2026年2月11日 13:30-17:00	世田谷産業プラザ3F 対面で事前申し込み 25名

*詳細は、会員研究支援—日本社会教育学会（jssace.jp）をご覧ください。